

こんにちは

-No.32-

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6

市民と野党の共闘が また前進した東京都知事選挙

市民と野党の統一候補の宇都宮けんじさん。残念ながら勝利とはなりませんでしたが、着実に市民と野党の絆が強くなっています。弁護士として悪徳サラ金業者にも引き下がらず、多重債務で苦しむ方達を救ってきた宇都宮さん。

「日本の社会は、私の父や母のように黙々と働いてきた、名もない農民や漁民、労働者などによって支えられてきた。政治家とは、そうした人々のために働く存在。一人ひとりが大切にされる社会にしていかなければ」と語ります。

コロナから都民の命を守る為に①PCR検査の強化②医療機関財政支援と医療体制強化③保健所を増やし、感染症対策強化④都立・公社病院を守り、充実させることが必要だと訴えました。

他人の不幸の上に成り立つカジノの計画中止、都営住宅の増設、ジェンダー平等社会の推進、人間らしい避難者生活の確立など、宇都宮さんの様々な提案は、今の都政に欠けている点です。引き続き、これらの課題解決に向けた運動に取り組んで行きましょう！

東村山市独自の コロナ対応を

コロナ禍で市内事業者からは「国の給付制度が受けられない」「先々の返済が必要となる融資ではなく、給付が必要」との悲鳴が上がっていました。これらの声を届け続け、6月議会の補正予算では、国の持続化給付金の対象とならない市内事業者と農業者に対して、上限20万円の支援策が講じられました。

国や都の様々な支援だけでは対象とならない市民が、大勢いらっしやいます。本当に必要な方に必要な支援を行うこと。市は市民に一番近いからこそ、気付ける独自支援があるはずです。

そして——
清瀬市との共同でPCR検査センター設置の協議がすすめられています。

活動報告・今後の日程

7月2日 都知事選応援演説
宇都宮けんじさんの応援には、日本共産党・立憲民主党・生活者ネットワークの現・前議員、市民代表では大学の先生が並んで応援しました。



7月15日 日本共産党創立 98周年記念講演会

日本共産党は、今年でなんと98周年。どなたでもインターネット視聴ができます。この機に多くの方に共産党を知っていただきたいと思います。



今後の国や都からの補助金（約10億円）も活用し、東村山市民にとって、いま必要な独自支援を求めていきます。

6月議会一般質問

私は「子ども達の声を受け止め、子どもの健康と豊かな成長を支える支援」を求めて質問しました。

突然の学校休校で、多くの制限の中で過ごすこととなり、学習・運動・休息・食事・家庭生活等々、日々の生活全般における精神的ケアも含め、今後は一人ひとりに寄り添った対応が欠かせません。



日本小児科学会は、**学校休校**が、コロナを起因とする影響よりも健康被害が大きくなると心配します。「子どもの最善の利益」をうたう“子どもの権利条約”の視点からも、行政はしっかりと子ども達の状態を把握し、対応してきたのか？休校期間中の市の対応と、今後の検討について質問しました。

(以下抜粋)

公益財団法人東京都保健医療公社

多摩北部医療センター

(たまほく)を守ろう！

都民の命を守るために大きな役割を果たしている都立病院・公社病院。感染症指定病床の7割を占め、コロナ感染患者の受け入れにも最前線で大活躍です。その公的病院の独立行政法人化（民営化への第一歩です）をすすめている小池都知事。多摩北部医療センターも対象です。

民営化により、病院維持のために不採算の診療科目の切り捨てや患者負担増・医療従事者の労働条件の低下をまねく恐れがあります。東京都が責任を持つ病院をこれ以上減らすことはできず、一層の充実強化が必要だと、コロナでわかったはず。地域では住民運動が広がっています。

「たまほくを良くする会」HP

<https://tamahokuyokusurukai.blogspot.com/?m=1>

[blogspot.com/?m=1](https://tamahokuyokusurukai.blogspot.com/?m=1)



東村山民報 2020年7月号外 山田たか子 活動紹介です。
◇東村山民報社◇ 小松恭子 東村山市美住町1-2-5

Q.これまで以上に子どもたちをしっかりとサポートする事に加え、こまめな消毒など、教職員の新たな業務が増えており、教職員の増員が必要と考えるが？

A.現状では不足しているとは考えていない。

Q.私たちは、希望者への給食提供を求めてきたが実施されなかった。給食が無い事で困る子ども達への対応は？

A.学校が様子を聞いたり訪問したりし、就学援助受給世帯には、給食を食べたものとして給付(国支援)を行う。

初めての事態に、多くの自治体が試行錯誤しながら独自施策に取り組む中、東村山独自対応はよく見えません。今こそ少人数学級の実現と教職員の増員、複数年度に渡る学習指導要領の見直しなどが必要です。これらは、一校や一市では対応できません。国や都への要望と、一方向ではなく、子どもたちの声を聞きながら支援をしてほしい、と求めました。時間が足りず不十分ではありましたが、今後も引き続き、皆さんの声を届けていきます。



申請された10万円 お手元に届きましたか？

国民1人につき10万円給付。
コロナ禍で「簡素な仕組みで迅速かつ的確に支援を行う」とした全国一律の支援ですが、給付速度は自治体によりまちまちです。「一度きりでは足りない」という声もあがります。「迅速な支援」は切実であり、「給付状況や情報がわからない」という声も多く届いており、大きな課題です。

※7月9日時点で52,400件が給付決定し、6月5日受領分までが審査済です。(東村山市ホームページ「特別定額給付金」から確認できます。)

❖山田たか子

ツイッター



❖いま しんぶん赤旗 がおもしろい！

日刊紙 月3,497円(一部売130円)

日曜版 月930円(一部売240円)

日刊紙 電子版(月3,497円)

